



中国新聞 令和5年8月23日掲載

大芝地区社協の活動拠点となる事務所



住民交流や相談の場に

地域活動を支える広島市独自の組織「ひろしまLMO(エルモ)」の認定を受けた大芝地区社会福祉協議会(西区)が、地域の活動拠点となる事務所を開設した。スタッフが常駐し、困り事の相談や住民同士の交流の場を目指す。大宮1丁目のビル1階に借りた約100平方メートル。机や椅子、テレビなどを置き、職員1、2人



西区に事務所開設

大芝地区社協の役員には地元の内会や子ども会、PTAの代表が名を連ねる。社協の米崎一郎会長(70)は「地元内会などで担い手不足になりつつある。団体の垣根を越えて集まり、地域活動を進めたい」と話している。エルモは市が3月につくった仕組み。小学校区単位で地域団体の活動を一本化し、業務の効率化や人材の確保を進める。これまで17団体を認定した。(野平慧一)

事務員紹介!



(乙部)

パソコンが少しできます。気軽にいらしてください。



(新田)

地域の皆様の憩いの場になるよう、頑張ります。



(吉田)

皆様のお役に立てるよう、頑張ります。

暑さのなかにも秋の気配を感じ始めた今日この頃、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。この度、大芝地区社会福祉協議会(通称エルモ大芝)では、新聞報道等でご覧いただいた通り、事務所を開設いたしました。エルモ大芝を拠点として「みんなでつくるささえあいのまち」実現に向けて、より住みよい大芝をめざして、皆様の期待に添えるように努力してまいりますので、今後ともご支援よろしくお願いいたします。尚エルモ大芝は、10月2日の月曜日から土曜日迄、午前10時から12時迄。祭日、盆、正月、ゴールデンウィーク等を除き開設しています。(臨時閉館もあります。)地域の交流の場として皆様のお役に、立てれば幸いです。エルモ大芝に、ご理解ご協力お願いいたします。

大芝地区社会福祉協議会
会長 米崎 一郎

令和5年8月29日
2943号(第三種郵便物認可)

経済レポート

広島型地域運営組織「LMO

大芝地区社協が集会所開設

持続可能な地域コミュニティの実現に向けて、町内会や自治会をはじめ複数団体との連携を図り、地域住民の生活向上や福祉増進などの住民自治を主導している大芝地区社会福祉協議会(米崎一郎会長)は、広島市が新たに策定した「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づき3月、市民主体のまちづくりを行政が協働的立場から推進する新たな協働体制である「ひろしまLMO」の加盟団体として認定された。

今月10日には、ひろしまLMOの運営助成金を活用し、西区大宮1-4-8に新たな集会所を開



この新たな協働体制「ひろしまLMO(Local Management Organization)」では従来、市役

所から複数の地域団体に対して用途に応じて使用を制限しながら交付されていた各種事業補助金を、地区社会福祉協議会と連合町内会・自治会を中核に据えた組織へ、特設の補助制度に移行していくことで、複数の地域団体にまたがり重複する可能性のあった地域課題の解決に向けて、その投資効果の最大化を図るもの。

ひろしまLMOとしての認定を受けるには、行政と協働して、市民主体のまちづくりに取り組む協議会および連合町内会・自治会が共同またはいずれかが単独で、概ね小学校区を活動範囲として活動している団体との連名のうえ応募する。その後、地域において新たな協働体制を構築したことを広島市が確認することと認定される。認定後は助成金のほかにも、必要に応じて市職員やまちづくりの知見をもつコーディネーター、税理士・社会保険労務士の派遣、また、事業計画作成への助言やまちづくりに必要な物品の無償貸出などといったヒト・モノ・カネの支援に加えて、地域活動における負担軽減や迅速な情報伝達を実現するICT活用の支援といった地域の表情や検討の熟度を即した伴走型支援を実行していく。広島市では新たな協働体制を構築する狙いを、活動に従事する人材の確保、新たな担い手を見出すこと、各団体の活動への解決できなかった問題への対応、役員など特定の人への負担の軽減などをあげている。

駐車場は、ありません。
近くのコインパーキングをお願いします。
駐輪は、お隣の岡本様宅をお願いします。
大芝地区社会福祉協議会 公式 LINE アカウント QRコード↑
メールアドレス : info@ooshibachiku-shakyo.jp



大芝地区社会福祉協議会事務所

エルモ大芝

733-0007
広島県広島市西区大宮 1-4-8 フェリーチエ-MT1 階
TEL:082-554-1870 FAX:082-554-1871